

1 2月定例記者会見の概要

1 日時 令和3年11月19日（金）15時30分～16時30分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑥ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑦ 共同通信社 福島支局（南相馬記者クラブ会員）

計 7 社

< 市側 >

・市長

(テレビ会議)

- ・林副市長・教育長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 15 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

◆最近までの出来事

それでは、前回11月4日の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてです。

まず、感染状況についてですが、市内では、9月29日以降51日間、感染者が確認されていません。これは市民の皆様が、マスクの着用、手指の消毒などの感染対策にご協力いただいているおかげです。改めて感謝申し上げます。

次に、ワクチン接種の状況ですが、11月18日時点で、2回のワクチン接種を完了した方の人数は50,941人で、接種回数は延べ102,247回となりました。

また、11月8日には、堀内詔子東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣兼ワクチン接種推進担当大臣が来市されたことから、ワクチンの供給に関する要望書を手交させていただきました。医療人材不足や、市外からの避

難者、復興関連事業の従事者が市内に居住している状況を背景に、ワクチン配分量の速やかな通知や、3回目のワクチン接種の前倒し、避難者や復興関連事業の従事者分のワクチン確保などについて要望いたしました。

次に、健康づくり実践事業所表彰式についてです。

11月15日に「第一回健康づくり実践事業所表彰式」を開催いたしました。減量や口腔衛生などに取り組む「ヘルスアップチャレンジ」事業に2年以上継続して参加した企業15社の皆様を表彰させていただきました。

本市では、青壮年期の運動不足、メタボリックシンドロームなどが課題となっています。市内企業と連携して市民の健康づくりに取り組んでまいります。

次に、復興、再生に向けた協議についてです。

11月16日に、南相馬市の避難指示解除後の復興・再生に向けた協議を開催しました。平成28年から始まり、今回が6回目となります。国や県をはじめとした関係機関が、南相馬市の旧避難指示区域の現状と課題について意見を交換し、小高区を中心とした移住・定住施策や本市の新たな農業の取り組み、太陽光発電設備の設置に関する課題などについて、踏み込んだ協議を行いました。

続いて、今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

3回目のワクチン接種について、国は、2回目接種完了から原則8か月以上の間隔をおいて1回接種することと決定いたしました。この方針を受けて、3回目の接種を円滑に行えるよう医師会など関係機関と調整しているところであります。

また、これから冬にかけてインフルエンザの予防接種を受ける方が増えると思いますが、新型コロナワクチンの予防接種と2週間以上間隔を空ける必要があります。インフルエンザ予防接種を希望されている方は、早めの接種をご検討ください。

次に、総合防災訓練についてです。

11月21日に、令和3年度南相馬市総合防災訓練を小高中学校、鹿島生涯学習センター、石神第二小学校で実施いたします。当日は、自主防災組織や福島県自動車販売店協会、防災士の皆様などにご参加いただき、市職員と連携して訓練を行います。訓練では、大雨警報土砂災害、土砂災害警戒情報の発令を想定して、避難所の開設や電動車両を利用した電気の供給などを行う予定です。

次に、市産米の贈呈についてです。

11月24日に、「市産米贈呈式」を開催します。今年4月1日以降にお子さんが誕生した世帯の皆様と、市政に関するモニター活動にご協力いただく本市出身の学生の皆様に、市産米をお送りさせていただきます。

お子さんが誕生した168世帯の皆様には市産米「天のつぶ」を30キロ、本市出身の学生66名の皆様には「天のつぶ」と「コシヒカリ」を6キロずつ合計12キロ贈呈します。

安心安全な市産米のおいしさを知っていただけるように、PRに取り組んでまいります。

現在、モニター活動にご協力いただける学生の皆様を募集しております。ぜひこの機会にご応募をお待ちしています。

次に、福島県立医科大学による研究施設の開所についてです。

11月25日に、福島県立医科大学による「医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター、通称TRセンター」、の「浜通りサテライト」が開所いたします。

「浜通りサテライト」では、TRセンターの研究成果を活用した浜通りの企業への支援などを行います。医療関連分野は福島イノベーションコースト構想の重点分野にも掲げられており、医療関連産業の集積、振興が進むことを期待いたします。

次に、企業立地に関する取り組みについてです。

11月26日に、福島県及び福島イノベーションコースト構想推進機構が主催する「企業立地セミナー in 東京」に参加いたします。このセミナーでは、企業を対象として、浜通りの各自治体が新たな産業団地や立地に関する補助金をはじめとする優遇制度などについて紹介します。南相馬市も立地環境や支援制度などについて、プレゼンテーションを行う予定です。

次に、農業に関する連携協定についてです。

11月29日、株式会社舞台ファームと南相馬市は「農業に関する連携協定」を締結いたします。

株式会社舞台ファームは、農業経営に関する専門的な知識や技術を持つ企業で、農産物の生産販売のほか、新商品の開発や人材育成などの業務を行っております。

農業を通じた地域の振興、担い手の確保・育成、スマート農業や農産物の6次産業化などに連携して取り組むことで、農業の振興・再生を図ってまいります。

次に、市議会定例会についてです。

11月30日から開会となる第6回南相馬市議会定例会に提出する案件は議案27件を予定しています。

主な案件としては、「押印等見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定」や、補正予算などとなります。補正予算の中身としては、「ふくしま感染防止対策認定店応援金交付事業」の拡充や、3回目のワクチン接種などに係る費用として「感染症予防事業」などの予算を計上しています。

詳細はのちほど総務部長より説明してもらいます。

次に、小高診療所の開所についてです。

12月16日に、市立総合病院附属小高診療所を開所いたします。

診療体制は医師4名、看護師4名、事務6名、診療科は内科及び外科となります。診察室は3室あり、その内1室は、感染症が疑われる場合に、他の患者と動線を分けて使用できるようにするなど、感染対策を講じた施設となっています。

開所にあたり、内覧会を開催いたします。日時は、12月15日（水曜日）の午後1時から午後4時まで、12月19日（日曜日）の午前10時から午後3時までとなります。ぜひ多くの皆様に新しくなった診療所をご覧いただきたいと思います。

【各部からの報告】

◆総務部

- ・第6回南相馬市議会定例会市長提出議案の要旨
- ・令和3年度南相馬市予算主要事業説明書（12月補正）

【各部からの資料提供】

◆鹿島区役所

- ・鹿島商工会 Present レシートチャンスキャンペーン第2弾！～家族・友達・大切な人と車で一緒に映画を楽しもう～

◆総務部・こども未来部・経済部

- ・南相馬市産新米贈呈式の開催について

◆経済部

- ・株式会社舞台ファームと南相馬市との「農業に関する連携協定締結式」の開催について

◆総合病院

- ・南相馬市立総合病院附属小高診療所開所式典について

【質疑応答】

質問1：

新型コロナワクチン接種について、59歳以下の一般の接種が4月中下旬に予定されています。年度末は仕事等の都合で市外へ転出される方が多くなると思われますが、年度内に3回目の接種が終わるようスケジュールを組むことはできないのでしょうか。

回答1：市長

国の通知では、2回目の接種から原則8か月以上間隔をあけることになっています。そのため、8か月未満の接種間隔でスケジュールを組むことは今の段階では難しい状況です。ただ、前倒しはしたいと考えていますので、今後詳細を詰めてまいります。

質問2：

以前お話ししていたスケジュールの前倒しは撤回ということではよろしいでしょうか。また、今後接種スケジュールを前倒しできるよう国に要望する予定はありますか。

回答2：市長

今は国の方針に基づいてスケジュールを組んでいます。前倒しした場合でも市として接種体制は組めますので、スケジュールを詰める努力はしていきたいです。

また、接種スケジュールの前倒しについてすでに国に要望をしており、今回の結果が示されたところです。今後の配分計画にもよりますが、内容を精査し、検討したいと考えております。今後も、ワクチン接種について、実情に合わせて国へ要望することを考えてまいります。

質問3：

市産米の贈呈について、昨年11月には600名の学生に送っています。今年は66名とのことですが、昨年より人数が少ない理由を教えてください。

また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた学生への経済的な支援を目的として始まった事業だと思いますが、感染状況が落ち着いた今、事業を終了する時期について検討されていますか。

回答3：市長

昨年、モニター活動にご協力いただける学生の皆さんを募集した際に、登録期間を一年としていたため、再登録の手続きを進めており、まだ申し込みが少ない状況です。随時、募集を呼び掛け、登録者数を増やしたいと思います。

本事業の終期ですが、昨年、市から市産品等をお送りするとともに、学生の皆さんにアンケート調査を行い、市政に関する意見などをいただきました。このような形で、南相馬市から巣立った学生の皆さんとつながっていくことは、意味の大きいことだと考えておりますので、長期的に続けてまいりたいと考えています。

質問4：

フロンティアパーク整備事業に関連して、市内工業団地の残区画数が僅かとのことですが、震災後に整備された工業団地の数と区画数、現時点の空き区画数を教えてください。

フロンティアパークの整備により創出される雇用者数の見込みと、どのような企業を誘致したか教えてください。

また、今回の整備にかかる補正額6,135,000円の使途と開所時期を教えてください。

回答4：経済部長

市内の工業団地は、信田沢工業団地、下太田工業団地、復興工業団地の3箇所です。信田沢工業団地は総区画数が8(4.6ha)、その内売却済の区画数が3(0.8ha)、貸付中の区画数は4(3.2ha)、空き区画数が1(0.6ha)です。下太田工業団地は、総区画数が15(13.3ha)、その内売却済の区画数が7(5.9ha)、貸付中の区画数は2(3.4ha)、交渉中の区画数が5(3.7ha)、空き区画数が1(0.3ha)です。復興工業団地は、総区画数が7(12.4ha)、その内売却済の区画数が0、貸付中の区画数は3(7.2ha)、交渉中の区画数が3(4.5ha)、空き区画数が1

(0.7ha)です。信田沢工業団地が震災前、下太田工業団地、復興工業団地が震災後に供用を開始しました。現在、空き区画が3箇所残っていますが、小さく不整形の土地であるため、企業誘致がしづらい状況です。

回答4：総務部長

補正額は基本計画の策定業務委託の費用になります。

回答4：市長

雇用者数については、誘致する企業によると思います。フロンティアパークという名前にはこだわっており、新しい分野に挑戦する方々を支援し誘導したいという思いを込めています。また、SDGsに配慮する企業の優遇などにも取り組むたいと考えています。

開所は令和7年を予定していますが、地質調査や設計にもよりますが、工期を分

けて、数ヘクタールずつ早めに開所したいと考えています。

質問 5 :

小高復興産業団地もフロンティアパークも現時点で仮称ですか。

また、整備地は市有地を使用するのか、用地買収するのか、また、現時点の総事業費の見込みも教えてください。

回答 5 : 市長

名称については小高復興産業団地とフロンティアパークのどちらも仮称となります。土地は今後購入する予定です。

回答 5 : 経済部長

これから基本計画を策定しますので、総事業費について現時点で正確な数字をお答えすることは難しい状況です。

質問 6 :

フロンティアパーク整備事業について、なぜ小高区に工業団地を整備するのでしょうか。また、整備時期についてですが、避難指示区域の解除から5年、もっと早くできなかったのでしょうか。

回答 6 : 市長

市全体として、若い世代に選ばれるまちづくりに取り組んでいます。特に小高区は国の支援などもあり、新たなチャレンジをするのに恵まれた地域です。小高パッケージ事業など若い世代の移住定住策に力を入れており、将来の復興を見越して、工業団地の名称を「フロンティアパーク」としたところです。

また、整備時期についてですが、工業団地の整備には、誘致する企業の見込みが必要です。他の工業団地で実績が積まれたことを踏まえて、新たに小高区に工業団地を整備するものとなります。

質問 7 :

フロンティアパーク整備事業の財源を教えてください。

回答 7 : 市長

国と加速化交付金等の活用について協議しています。

今回の補正額分については、市の財源となります。

質問 8 :

「ママパパ応援子育て支援アプリはぐらいふ事業」について、県内の他市町村でも実施していますか。

回答 8 : 健康福祉部長

実施しています。

質問 9 :

地域医療介護総合確保事業補助金について、なぜ2箇所の介護施設だけが対象となっているのでしょうか。

回答 9 : 健康福祉部長

令和3年度に対応可能と回答いただいた2施設が対象となっています。他の施設については、今後、意向を確認したいと思います。

以上